



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'91秋

49

も く じ

あ い さ つ	村井会長	1
平成3年度総会		2
平成3年度第1回役員会		11
平成2年度第2回役員会、分会長、支部長会、 クラス幹事会		12
分会、支部だより		15
クラス幹事だより		17
平成3年、4年度大阪歯科大学兵庫県同窓会役員		24



あいさつ

大阪歯科大学兵庫県同窓会長

村井俊郎

母校大阪歯科大学は本年創立80周年を迎え、5月31日には記念式典が、6月1日には全国同窓会会員大会が、いずれも盛況裡に開催されました。

一方、本年4月には中原爽先生が日本歯科医師会長に就任され、大変精力的に会務の執行にあたり、山積する歯科界の諸問題の解決に努力しておられます。

歯科界は現在、歯科医師数の急増問題や、社会保険診療報酬の改定問題など多難な課題に直面しています。

しかし、これからの長寿社会の中でも歯科医療が果たす役割りがきわめて大きいことも事実です。

すでに社会の有識層は21世紀への道程と更に将来への展望の中で歯科医療の使命が益々加重

されて行くことについて指摘をしています。

だが、この期待の中には量もさることながら質への転換が求められていることも事実です。

たゆみなく進歩する歯学の成果を社会に還元するのは臨床に携わる歯科医師の最大の目標であり、歯科医師の社会的地位の向上と経済的地位の確保もこれらの努力によって得られるものであります。

兵庫県同窓会は1,500名の会員を擁していますが、私達は同窓会本部と密接な連携を保ち母校の発展と会員の相互親睦をはかりながら、母校の学問的基盤によって歯科医学の研修につとめ質の高い歯科医療を患者さんに提供して行く姿勢を続けたいと思います。

会員の先生方の一層のご支援とご協力をお願い致します。

村井会長の留任を可決

学術奨励金交付など討議

平成3年度大阪歯科大学兵庫県同窓会総会

平成3年4月13日(土)



平成3年度第1回大阪歯科大学同窓会総会は4月13日(土)午後4時から、役員会に引き続き兵衛会館5階ホールで開かれた。

総会は志築専務の司会、三坂常任理事の開会のことばに続き、伊藤副会長を議長に選出して進められ、議事録署名人に末岡彬(灘・大9)、守光昌弘(播磨・大15)両氏を指名した。

まず、村井会長は挨拶で「わが母校、大阪歯科大学は本年で創立80周年を迎えることになった。明治・大正・昭和・平成と4代にわたり、関西で最古の私立歯科大学として、その歴史と伝統を保ってきた。

現在、卒業生は12,000人を越え、日歯会員の約1/3を占めている。

4月に発足した中原日歯執行部では、村瀬進(兵庫)、田治米保夫(大阪)両氏が常務理事として参画しているが、歯科界における大歯大

の果たす責任は重大なものがある。

80年の歴史の中で、名門校として隆盛を保っていることは、私たち同窓生にとって、誠に誇りとするところである。

県下では、17校の同窓・校友会組織があるが、兵衛2,700会員中1,500人の同窓生で、52%を占めている。従って、県内においても大歯同窓会のはたす役割りは重要であり、責任がある。それだけに、他校に対する気遣いが必要である。」と述べた。

<学位受領者表彰>

本年度は、川村匡宏(西宮・大31)、金漢俊(西宮・大35)、長谷川彰則(長田・大35)の3氏が表彰され、受領者を代表して、長谷川氏が「今後とも、医療の研さんに励み、同窓会の名に恥じないよう頑張りたい」と謝辞を述べた。

<報 告>

- 1) 会務報告 (資料別掲) 志築専務
 会員現況 1,488人 (平成3年2月28日現在)
 ここで、物故会員18人の冥福を祈って黙とうを捧げた。
- 2) 会計報告 三坂常任
 4月12日現在で、支出 20,000円
 残高 1,135,070円
- 3) 本部報告 志築専務
 平成3年3月2日(土)午後1時から開かれた常務会、理事会、総会について報告。

<議 事>

- 第1号議案 平成2年度収入支出補正予算
 時局対策積立金1,000,000円を増額するための補正で、収支額18,926,000円
- 第2号議案 平成2年度収入支出決算
 河合監事報告のあと、可決した。
 収 入 額 18,925,552円
 支 出 額 17,770,482円
 差引収支差額 1,155,070円
- 第3号議案 平成3年度事業計画及び平成3年度収入支出予算
 収支額 19,636,000円
- 第4号議案 会費の額及び徴収方法
 会費の額 年額12,000円(2回)
 徴収方法 社保診療報酬から差し引く
- 第5号議案 学術奨励金交付規則について
 笠原義人氏の寄附金を基金として会員の歯学研究の助成を行うもの。(規則は別掲)
- 第6号議案 会長の選出について
 村井会長の留任を可決した。
- 第7号議案 監事の選出について
 内海、河合両氏の留任を可決した。
 このあと、村井会長、内海監事がそれぞれ留任のあいさつをした。

<協 議>

- 1) 第11回全国会員大会について
 申し込み締め切り期日以降でも受け付けるので、継続して申し込みをお願いしたい。
 全国大会出席協力のため、兵庫県会員大会を一年延期したので、主旨を理解いただき、

多数の参加をお願いしたい。

最後に、嘉ノ海常任の閉会のことばで全日程を終了した。

<会務報告>

(会員数) (平成3年2月28日現在)

神戸分会	東 灘 支 部	71名
〃	灘 支 部	58
〃	中 央 支 部	121
〃	兵 庫 支 部	62
〃	長 田 支 部	52
〃	須 磨 支 部	46
〃	垂 水 支 部	43
〃	北 支 部	41
〃	西 支 部	16
〃	明 石 支 部	63
〃	三 田 支 部	11
尼 崎	分 会	176
西 宮	分 会	176
摂津分会	伊 丹 支 部	37
〃	川 西 支 部	29
〃	宝 塚 支 部	55
〃	芦 屋 支 部	33
播磨分会	三木・美囊支部	15
〃	小野・加東支部	12
〃	西脇・多可支部	15
〃	加 西 支 部	10
〃	播 磨 支 部	64
〃	姫路・神崎支部	129
〃	揖 竜 支 部	16
〃	宍 粟 支 部	10
〃	相 生・赤穂・ 佐 用 支 部	28
丹波分会	多 紀 支 部	12
〃	氷 上 支 部	16
但馬分会	南 但 支 部	12
〃	北 但 支 部	18
〃	美 方 支 部	2
淡路分会	洲 本 支 部	14
〃	津 名 支 部	12
〃	三 原 支 部	13

1,488名

諸会議

◎役員会 平成2年4月7日(土)
午後3時30分

(司会) 志築専務

- 1. 開会のことば 小田副会長
- 2. 議長選出 伊藤副会長
- 3. 議事録署名人指名 中森康二
岡田利雄
- 4. 挨拶 村井会長
- 5. 報告
 - 1) 会務報告 志築専務
 - 2) 会計報告 三坂常任
 - 3) 本部報告 志築専務
- 6. 協議
 - 1) 総会開催について 志築専務
 - 2) 第36回会員大会について
 - 3) その他
- 7. 閉会のことば 長浜副会長

◎総会 平成2年4月7日(土) 午後4時
(司会) 志築専務

- 1. 開会のことば 小田副会長
- 2. 議長選出 伊藤副会長
- 3. 議事録署名人指名 赤井崇郎
一瀬健二
- 4. 挨拶 村井会長
- 5. 学位受領者

氏名	卒回	地区名	受領日
石田 寿夫	大24	多紀郡	平成元年6月28日
嘉ノ海龍三	大25	姫路市	平成元年9月27日
武内信二郎	大26	佐用郡	平成元年12月20日
垣内 英也	大24	宍粟郡	ク
松井 良生	大33	西宮市	平成2年3月24日
橋本 浩史	大34	西宮市	ク
西原 五郎	専27	播磨	平成2年3月28日

- 6. 議事
 - 1) 会務報告 志築専務
 - 2) 会計報告 三坂常任
 - 3) 本部報告 志築専務
 - 7. 議事
 - 第1号議案 平成元年度収入支出補正予算
 - 第2号議案 平成元年度収入支出決算
- ここで内海監事より監査の結果、業務

並びに会計は適正に遂行されている旨の
監査報告があった。

第3号議案 平成2年度事業計画及び平成
2年度収入支出予算

第4号議案 会費の額及び徴収方法につい
て

会費の額 年額12,000円(2回徴収)
徴収方法 社保診療報酬から差し引く
以上4議案は提案説明の後いずれも全

員賛成

8. 協議

- 1) 第36回会員大会
- 2) その他

9. 閉会のことば 長浜副会長

◎役員会・分会長・支部長・クラス幹事会

平成2年7月7日(火) 午後3時
(司会) 志築専務

- 1. 開会のことば 小田副会長
- 2. 議長選出 伊藤副会長
- 3. 議事録署名人指名 清水保則
天方孝彦
- 4. 挨拶 村井会長
- 5. 報告
 - 1) 会務報告 志築専務
 - 2) 会計報告 三坂常任
 - 3) 本部報告 志築専務
- 6. 協議
 - 1) 第36回会員大会について
 - 2) その他
- 7. 閉会のことば 渡部副会長

◎役員会・分会長・支部長・クラス幹事会

平成3年2月2日(土) 午後1時
(司会) 志築専務

- 1. 開会のことば 伊藤副会長
- 2. 議長選出 中塚副会長
- 3. 議事録署名人指名 入江恒夫
蓮池俊明
- 4. 挨拶 村井会長
- 5. 報告
 - 1) 会務報告 志築専務
 - 2) 会計報告 三坂常任
 - 3) 本部報告 志築専務

6. 協議

- 1) 全国大会について
- 2) その他

7. 閉会のことば 小田副会長

物故会員

氏名	地区	卒回	年齢	死亡年月日
奥井 勝美	洲本市	賛正	71歳	平成2年5月13日
高津 輝雄	〃	医	94歳	平成2年6月2日
佐竹 正世	氷上郡	専6	86歳	平成2年6月7日
鈴木 要輔	長田区	専14	82歳	平成2年7月3日
達谷 喜信	灘区	専23	70歳	平成2年7月8日
中浜 雅之	姫路市	専30	67歳	平成2年7月18日
安達 一	灘区	大2	60歳	平成2年7月25日
小林 義人	尼崎市	専16	76歳	平成2年8月10日
磯田 次男	長田区	専15	76歳	平成2年8月16日
四方田禮太	西宮市	専17	74歳	平成2年10月24日
菊地 豊	北区	専31	61歳	平成2年11月3日
吉村 博文	灘区	専30	61歳	平成2年12月6日
三木 博	揖尾	専6	87歳	平成2年12月9日
佐藤 良孝	尼崎市	専17	74歳	平成3年1月12日
足立 貢	相生・赤穂	医	82歳	平成3年3月12日
梶 進	芦屋市	専19	76歳	平成3年3月17日
中田 実	北区	大8	57歳	平成3年3月29日
細原 広	尼崎市	専28	65歳	平成3年4月12日

以上18名

事業報告

○第36回会員大会

平成2年8月11日(土) 午後3時
神戸ポートピアホテル 参加人員 531名

○学術講演会

日時 平成3年2月2日(土) 午後2時
場所 兵庫県歯科医師会館5階ホール
演題 「局部床義歯の設計について」
講師 大阪歯科大学歯科補綴学第3講座
教授 井上 宏 氏

○本部外諸会議(出張)

平成2年

4月15日	京都府同窓会総会	村井・中塚
5月10日	中央支部総会	飯田
5月12日	大10回支部会	伊藤
5月19日	播磨分会・姫路・神崎支部総会	小田
6月2日	和歌山県同窓会総会	伊藤
6月10日	奈良県同窓会総会	志築

6月17日	大5回総会	村井・志築
6月30日	神戸分会総会	村井・中塚
7月7日	大12回総会	村井・志築
7月14日	垂水支部総会	伊藤
7月20日	専25回生会	村井
7月28日	東灘支部総会	村井・志築
10月6日	大阪府同窓会会員大会	伊藤
11月10日	大11回全国大会	伊藤
11月17日	専29回全国大会	伊藤
11月17日	大30回懇親会	小田
11月23日	滋賀県同窓会総会	村井・中塚
12月8日	県下各歯科大同窓・校友役員 連絡協議会	伊藤・中塚 志築・豊川
12月15日	姫路・神崎支部懇親会	小田
12月16日	岡山県同窓会総会	志築
平成3年		
1月5日	中央支部新年会	伊藤
1月19日	須磨支部新年会	村井・志築
1月19日	長田支部総会	村井・志築
3月16日	播磨分会・姫路・神崎支部学会	小田
3月23日	尼崎分会学会・総会	村井・中塚
3月30日	大学13回総会	村井

○学位受領者

氏名	卒回	地区名	受領日
川村 匡宏	大31	西宮市	平成2年12月19日
金 漢俊	大35	西宮市	平成3年3月23日
長谷川彰則	大35	長田区	平成3年3月23日

第1号議案 平成2年度収入支出補正予算

平成2年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出補正予算書

(自 平成2年4月1日)
(至 平成3年3月31日)

収 入 額 18,926,000円
支 出 額 18,926,000円

収入の部

科 目	補正予算額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,888,000	17,040,000		152,000	
第1項 会 費	16,888,000	17,040,000		152,000	
第二款 雑 収 入	1,589,000	1,551,000	38,000		
第1項 雑 入	95,000	30,000	65,000		
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,493,000	1,520,000		27,000	
第三款 繰 越 金	449,000	449,000			
第1項 繰 越 金	449,000	449,000			
合 計	18,926,000	19,040,000		114,000	

支出の部

科 目	補正予算額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	4,478,000	4,550,000		72,000	
第1項 事 務 費	2,230,000	2,150,000	80,000		
第2項 旅 費	1,080,000	1,200,000		120,000	
第3項 通信印刷費	836,000	800,000	36,000		
第4項 消耗品費	260,000	300,000		40,000	
第5項 雑 費	72,000	100,000		28,000	
第二款 会 議 費	2,500,000	3,000,000		500,000	
第1項 会 議 費	2,500,000	3,000,000		500,000	
第三款 事 業 費	10,930,000	11,000,000		70,000	
第1項 学 術 費	260,000	500,000		240,000	
第2項 広報宣伝費	710,000	1,000,000		290,000	
第3項 福祉厚生費	2,200,000	3,000,000		800,000	
第4項 会務連絡費	1,300,000	1,500,000		200,000	
第5項 表彰慶弔費	1,030,000	1,000,000	30,000		
第6項 諸見舞金	1,280,000	1,000,000	280,000		
第7項 渉 外 費	2,150,000	2,000,000	150,000		
第8項 時局対策積立金	2,000,000	1,000,000	1,000,000		
第四款 予 備 費	1,018,000	490,000	528,000		
第1項 予 備 費	1,018,000	490,000	528,000		
合 計	18,926,000	19,040,000		114,000	

第2号議案 平成2年度収入支出決算

平成2年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出決算書

(自 平成2年4月1日
至 平成3年3月31日)

収入額 18,925,552円

支出額 17,770,482円

収入の部

差引収支差額 1,155,070円

科 目	本 年 度 決 算 額	本 年 度 補 正 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,888,000	16,888,000			
第1項 会 費	16,888,000	16,888,000			
第二款 雑 収 入	1,588,085	1,589,000		915	
第1項 雑 入	95,085	95,000	85		
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本 部 手 数 料	1,493,000	1,493,000			
第三款 繰 越 金	449,467	449,000	467		
第1項 繰 越 金	449,467	449,000	467		
合 計	18,925,552	18,926,000		448	

支出の部

科 目	本 年 度 決 算 額	本 年 度 補 正 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	4,466,524	4,478,000		11,476	
第1項 事 務 費	2,230,000	2,230,000			
第2項 旅 費	1,070,320	1,080,000		9,680	
第3項 通 信 印 刷 費	835,042	836,000		958	
第4項 消 耗 品 費	259,236	260,000		764	
第5項 雑 費	71,926	72,000		74	
第二款 会 議 費	2,499,649	2,500,000		351	
第1項 会 議 費	2,499,649	2,500,000		351	
第三款 事 業 費	10,804,309	10,930,000		125,691	
第1項 学 術 費	255,970	260,000		4,030	
第2項 広 報 宣 伝 費	704,420	710,000		5,580	
第3項 福 祉 厚 生 費	2,172,931	2,200,000		27,069	
第4項 会 務 連 絡 費	1,228,400	1,300,000		71,600	
第5項 表 彰 慶 弔 費	1,021,610	1,030,000		8,390	
第6項 諸 見 舞 金	1,280,000	1,280,000			
第7項 渉 外 費	2,140,978	2,150,000		9,022	
第8項 時 局 対 策 積 立 金	2,000,000	2,000,000			
第四款 予 備 費	0	1,018,000		1,018,000	
第1項 予 備 費	0	1,018,000		1,018,000	
合 計	17,770,482	18,926,000		1,155,518	

平年2年度
財産目録

(平成3年3月31日)

大阪歯科大学兵庫県同窓会

(単位：円)

科 目	取 引 銀 行	金 額
(1)一般会計 普通預金	太陽神戸三井銀行 兵庫支店	1,155,070
(2)時局対策積立金 定期預金	太陽神戸三井銀行 兵庫支店	4,542,240
(3)学術奨励金 定期預金	太陽神戸三井銀行 兵庫支店	4,336,817
(4)備 品	トランシーバー 4台	

第3号議案 平成3年度事業計画及び平成3年度収入支出予算

平成3年度
事業計画

1. 会員の学術研修に関する事項
2. 会員の福祉共済に関する事項
3. 慶弔に関する事項
4. 会報の発行
5. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
6. 渉外に関する事項
7. その他目的達成のために必要な事項

第4号議案 会費の額及び徴収方法について

会費の額 年額 12,000円(2回)

徴収方法 社保診療報酬から差し引く

第5号議案 学術奨励金交付規則について

(資料2)

第6号議案 会長の選出について

第7号議案 監事の選出について

第3号議案 平成3年度収入支出予算

平成3年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出予算書

(自 平成3年4月1日
至 平成4年3月31日)

収 入 額 19,636,000円

支 出 額 19,636,000円

収 入 の 部

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,920,000	16,888,000	32,000		月1,000円×12ヶ月×1,410名
第1項 会 費	16,920,000	16,888,000	32,000		
第二款 雑 収 入	1,561,000	1,589,000		28,000	
第1項 雑 入	50,000	95,000		45,000	預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本 部 手 数 料	1,510,000	1,493,000	17,000		10,000円×1,410名×10%
第三款 繰 越 金	1,155,000	449,000	706,000		本部より過年度分100名含む
第1項 繰 越 金	1,155,000	449,000	706,000		
合 計	19,636,000	18,926,000	710,000		

支 出 の 部

科 目	本 年 度 額	前 年 度 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事務費	5,830,000	4,478,000	1,352,000		
第1項 事務費	2,230,000	2,230,000			
第2項 旅 費	1,200,000	1,080,000	120,000		
第3項 通信印刷費	2,000,000	836,000	1,164,000		名簿印刷費含む
第4項 消耗品費	300,000	260,000	40,000		事務用品
第5項 雑 費	100,000	72,000	28,000		
第二款 会議費	3,000,000	2,500,000	500,000		
第1項 会議費	3,000,000	2,500,000	500,000		役員会・常任理事会
第三款 事業費	10,501,000	10,930,000		429,000	
第1項 学 術 費	500,000	260,000	240,000		
第2項 広報宣伝費	1,000,000	710,000	290,000		会報発行
第3項 福祉厚生費	1,000	2,200,000		2,199,000	会員大会中止のため
第4項 会務連絡費	1,500,000	1,300,000	200,000		幹事会
第5項 表彰慶弔費	1,000,000	1,030,000		30,000	
第6項 諸見舞金	1,200,000	1,280,000		80,000	@20,000×60名
第7項 渉 外 費	2,300,000	2,150,000	150,000		
第8項 時局対策積立金	2,000,000	2,000,000			時局対策積立会会計へ支出
第9項 学術奨励金	1,000,000	0	1,000,000		学術奨励金積立会会計へ支出
第四款 予 備 費	305,000	1,018,000		713,000	
第1項 予 備 費	305,000	1,018,000		713,000	
合 計	19,636,000	18,926,000	710,000		

自然増は予備費へ繰入

(資料2)

大阪歯科大学兵庫県同窓会
学術奨励金交付規則

(趣旨)

第1条 この規則は、大阪歯科大学兵庫県同窓会（以下「本会」と称する）会則第2条および第4条第1号の規定に基づき定める。

(目的)

第2条 この規則は、本会会員の歯学の研究を助成し、もって口腔衛生の向上発展をはかるを目的とする。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 本会会員の行う歯学研究の助成
- (2) 本会会員が主宰する歯学研究会またはスタディグループの活動の助成

(基金)

第4条 前条の事業を行うため、本会に学術奨励基金を置く。

- 2 前項の基金は本会の別途会計とし、学

術奨励基金特別会計とする。

- 3 本特別会計は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 4 特別会計の予算決算は、本会一般会計に準じ総会の承認を得なければならない。

(基金運用の委託)

第5条 前条の基金運用は、本会常任理事会の指定した金融機関に委託することができる。

(助成の申請方法)

第6条 本規則第3条に定める助成を受けようとする会員は、毎年6月末日までに別に定める様式により、所属する分会長または支部長を経由して本会会長に申請するものとする。

(選考)

第7条 この規則に基づく助成対象者の選考は、本会常任理事会の議を経て会長が行う。

- 2 会長は助成対象者の氏名を直近の総会で報告しなければならない。

(報告)

第8条 この規則に基づく助成を受けた会員は、定められた期日までに所定の様式により研究内容を報告しなければならない。

(付則)

1. この規則は平成3年4月1日より施行する。

大阪歯科大学兵庫県同窓会奨励金
交付申請のしおり

本会学術奨励金の交付を申請する者は、申請書(様式1)に、団体にあっては研究活動報告書(様式2-1)を、個人にあっては、学術奨励金交付申請研究の概要(様式2-2)を添えて、毎年6月末日までに提出して下さい。

なお、奨励金の交付を受けた場合は、団体・個人とも翌年3月末日までに活動状況若しくは研究内容を報告して下さい。

(様式1)

平成 年 月 日

大阪歯科大学兵庫県同窓会
会長 村井俊郎 殿

申請者または研究会代表者の氏名 _____ 印

住所 _____

所属分会長・支部長氏名 _____ 印

大阪歯科大学兵庫県同窓会
学術奨励金交付申請書

標記について貴会学術奨励金(規則第3条第 号)をご交付賜りたく申請致します。

(様式2-1)

団体用

大阪歯科大学兵庫県同窓会助成
研究会活動報告書

助成申請年度	報告年月日			
年度	平成 年 月 日			
最近3年間の活動状況				
日時	場所	研修内容	講師	参加者数
その他特記事項				

団体の名称 _____
代表者の氏名 _____

(様式 2-2)

個人用

大阪歯科大学兵庫県同窓会学術
奨励金交付申請研究の概要

助成申請年度 年度	報告年月日 平成 年 月 日
研究者(所属)	
研究題目 (邦文)	
(英文)	
研究の概要(200字程度)	

(様式 3)

個人用

大阪歯科大学兵庫県同窓会
助成研究報告書

助成申請年度 年度	報告年月日 平成 年 月 日		
研究者(所属)			
研究題目 (邦文)			
(英文)			
公表(学会で発表した場合に下記に記入する。)			
学会名	演題	発表年月日	発表地
研究結果の概要を添付して下さい。 邦文：B5横書400字詰原稿用紙を使用、10枚(4000字)にまとめて下さい。(ただし、表の添付は可、写真は不可。)			

助成を受けた
代表者の氏名 _____ 印

平成3年度 第1回 役員会

平成3年4月13日(土)

平成3年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会が、4月13日(土)午後3時30分から兵庫県歯科医師会館5階ホールで開かれた。

役員会は志築専務が司会し、志水常任理事の閉会のことばのあと、伊藤副会長を議長に選出し、議事録署名人に岡田利雄(尼崎・大4)、大頭孝三(中央・大12)両氏を指名した。

村井会長はあいさつで「年度はじめて、各地区の行事が開かれるなか、ご参集いただき感謝している。」

今年は母校の創立80周年を迎える年であり、記念事業として各種の催物を企画している。

その一例として、牧野学舎の旧技工士学校校舎を取り壊して福祉厚生施設を建てる計画がある。現在、財政規模は安定しているが、法人理事会で、教・職員の2割削減を3年計画で実行する予定である。また、21世紀に向けて、キャンパス検討委員会の答申をもとに、学舎の建て換えをすることになった。

入学試験は最近数年間で最高の難関となり、

校友の子弟だけで合格定員の2倍を超える志願者数であった。

歴史と伝統に輝やく、関西で最古の大学であり、80周年記念式典には全員がこぞって参加していただきたい」と述べた。

<報告>

- 1) 会務報告 志築専務理事
- 2) 会計報告 三坂常任理事
- 3) 本部報告 志築専務理事

<協議>

- 1) 総会開催について
志築専務が、このあと開かれる総会の日程について説明した。
- 2) 第11回全国会員大会について
- 3) その他

80周年記念事業を無事成功させるため、役員会の意向として、役員・監事の留任をのぞむ意見が出された。

最後に三坂常任理事の閉会のことばで終了した。

第11回全国同窓会会員大会などにつき協議

平成2年度 第2回役員会、分会長、支部長会、クラス幹事会

日時 平成3年2月2日(土) 午後1時

場所 兵歯会館5階ホール



〈挨拶する村井会長〉



〈会務報告 志築専務〉

平成2年度大阪歯科大学兵庫県同窓会、役員会、分会長、支部長会、クラス幹事会は、平成3年2月2日(土)午後1時より兵歯会館5階ホールで開催され、各報告を聞くとともに、第11回全国同窓会会員大会につき協議した。

なお、2時から学術講演会として大阪歯科大学歯科補綴学第3講座、井上宏教授による「局部床義歯の設計について」と題する講演会があった。



〈会計報告
三坂常任理事〉

会は志築専務の司会により伊藤副会長が『月始めの土曜日にもかかわらず多数ご参集いただき感謝している、よろしくご審議いただきたい』と開会のことばを述べた後、議長に中塚副会長を指名、議長より「去る1月19日次期兵歯会長の立候補の締め切りがあり村井現会長一人の立候補ということで次期兵歯会長が決定している。同窓会として、ここで伊藤副会長よりお



〈閉会の辞
小田副会長〉

祝いを進呈したい」との発言があり、当選のお祝いが進呈された。

議事録署名人に、入江恒夫（大15回）、蓮池俊明（専32回）の両氏を指名、村井会長のあいさつにうつった。

《村井会長挨拶要旨》

過般執行された次期兵歯会長選挙で、不肖私が無競争で当選させていただきありがとうございます。3年間全力を尽す所存でございますので先生方のご支援を心からお願いいたします。

中央では昨年2月25日に近北地区を中心にして現在の日歯の姿勢を打破する決議が行われ、それを受けて近北地区から出ている役員は辞表を提出し、その後いろいろな経過をへて9月の代議員会を迎えたわけであります。その第115回代議員会において山崎会長が今期をもって退陣する、来年の春からは次期の執行部を皆で考えていただきたいとのあいさつがあった。

これを受け6大学が今まで種々やってきたわけであるが、全国の歯科界からなぜ今6大学かという疑問もあるわけであります。本来、歯科医師会の会長を選ぶについて同窓会、校友会が関与しなければならないのかという声も一部にあるわけであります。明治30年代に創立された日歯は今日まで90年近い歴史があるわけでありますが、この歴史を築いて来たのは早くからあった6歯科大学の卒業生の方々である。昭和26年に阪大歯学部が出来るまでは、全国に歯科大学は6校しかなかったわけであります。現在は全国で29の歯科大学、歯学部がありますので現在は29歯科大学、歯学部の時代ではあります。日歯100年の歴史を作ってきたのは6大学の卒業生の力であると言っても言い過ぎではないと思います。

日歯の最高の決定機関は代議員会でありますが、この代議員は全国から500人に1人で選ばれその総数は113名であります。その内訳を見ると、大阪大学歯学部が3名、神奈川歯科大学が1名で、その他109は6大学の卒業生であります。6大学は功績もあるが反面責任も持っているわけで、6大学の責任はきわめて重いとい

うことであります。

去る11月2日に6大学同窓会の会長会議があり選挙なしに日歯会長を選ぶことに同意した。これを受けて11月17日に29歯科大学・歯学部同窓会の会長会議があり賛成を得た。ここに歯科界全体の合意事項となったわけである。

12月20日、日歯学長の中原爽先生が次期日歯会長として最適任であるとの結論を得た。

この同窓会の合意を近北地区が中心になって歯科医師会レベルの同意を持っていったわけであります。

最後に今年の大阪歯科大学の入学試験であるが応募者は623名で定員128名であるので4.9倍の激戦である。

兵庫県は2,700名の会員中、大歯卒業の会員は1,500名である、私達の責任は極めて重いわけであります。今後の先生方のご協力をお願いいたします」

〔報告〕

- 1) 会務報告 志築専務
会員数 1,488名
役員会、総会 4月7日
クラス幹事会、支部長会、役員会 7月7日
会員大会 8月11日 神戸ポートピアホテル
参加者 538名
- 2) 会計報告 三坂常任理事
- 3) 本部報告 志築専務
会員数 10,119名

〔協議〕

- 1) 全国大会について
平成3年6月1日（土）ホテル・ニューオータニ大阪で第11回全国同窓会会員大会が開催されるので、兵庫県の会員大会は今年中止となる。

平成2年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出現況報告書

取 入 額 18,558,313円
 支 出 額 12,591,890円
 差引収支差額 5,966,423円

収入の部

平成3年1月31日現在

科 目	収入額	本年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,650,000	17,040,000		390,000	月1,000円×12ヶ月×1,420名
第1項 会 費	16,650,000	17,040,000		390,000	
第二款 雑 収 入	1,458,846	1,551,000		92,154	
第1項 雑 入	51,846	30,000	21,846		預金利子
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	1,407,000	1,520,000		113,000	10,000円×1,420名×10% 本部より過年度分100名含む
第三款 繰 越 金	449,467	449,000	467		
第1項 繰 越 金	449,467	449,000	467		
合 計	18,558,313	19,040,000		481,687	

支出の部

科 目	支出額	本年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	3,921,342	4,550,000		628,658	
第1項 事 務 費	2,090,000	2,150,000		60,000	
第2項 旅 費	855,740	1,200,000		344,260	
第3項 通信印刷費	717,870	800,000		82,130	
第4項 消耗品費	189,236	300,000		110,764	
第5項 雑 費	68,496	100,000		31,504	
第二款 会 議 費	2,017,029	3,000,000		982,971	
第1項 会 議 費	2,017,029	3,000,000		982,971	
第三款 事 業 費	6,653,519	11,000,000		4,346,481	
第1項 学 術 費	7,725	500,000		492,275	
第2項 広報宣伝費	704,420	1,000,000		295,580	
第3項 福祉厚生費	2,140,931	3,000,000		859,069	
第4項 会務連絡費	0	1,500,000		1,500,000	
第5項 表彰慶弔費	891,610	1,000,000		108,390	
第6項 諸見舞金	0	1,000,000		1,000,000	
第7項 渉 外 費	1,908,833	2,000,000		91,167	
第8項 時局対策積立金	1,000,000	1,000,000		0	
第四款 予 備 費	0	490,000		490,000	
第1項 予 備 費	0	490,000		490,000	
合 計	12,591,890	19,040,000		6,448,110	

現 金 62,646 預り金 820,000 普通預金 6,723,777
 合 計 ¥5,966,423



分会支部 だより

神戸分会

神戸分会新編成から1年有余が経過いたしました。その節には分会の先生方にいろいろとご協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。幸いご決定をいただきました会費の徴集も順調に行われています。各支部回りも支部総会に出席させて頂きご協力をお願いしてもう少しで完了というところです。今後の予定と致しましては9月に役員、支部長会を持ち10月に分会の第2回総会を開催いたしますので連絡が参りましたら万障お繰り合わせの上ご出席の程お願い申し上げます。(分会長 飯田 浩司)

神戸分会明石支部

神戸分会明石支部の定時総会と懇親会が去る7月13日(土)に開催されました。支部長、監事の改選期に当たり、当支部では、川口豊が支部長に再選、監事、理事も全員が再任と決まりました。例年若い会員の出席率が悪く、これも現在の歯科界の現況が大いに関係ありと思われるます。

当支部では一層の団結をもって現況をのりきると共に、魅力ある事業と大いに明るく面白い懇親会を企画し来年に備えてゆくつもりです。

(水田 象介)

西宮分会

本分会は、平成3年8月20現在、会員数150名、西歯会員243名で、その割合は61%を占めています。

同窓会の目的は何と云っても「会員相互の親睦」が第一でありますので、その基本にそって事業をすすめております。

本年は1月早々会員レクリエーションとして兵庫県竹野へバスを仕立てて、一泊旅行を行いました。道中、雪の心配もありましたが、暖冬ということなのか、支障なく懇親旅行ができました。本分会は6月から新年度になり、年一度の総会で、決算も議案としますので、6月にずれ込んでの総会開催となります。3年度は家族を含めたレクリエーションを予定しております。

大歯80周年記念、第11回全国会員大会への参加は、大々的に呼びかけた結果、本分会で52名の出席者があり、会員の三分の一とはいえ、県下では多く、一応、初期の目的は達せられたと思っております。大体、いつも協力をお願いするかたちになる訳ですが、県歯をはじめ、それぞれの会合出席と、事業参画が盛んな中で、重複もあり、相当多忙な面もあるのではと思えます。

現代人は外国も含めて、人間社会の事ばかりでなく、地球規模の環境悪化の問題を日常の話題の中に取り入れるような発想が大事と思えます。人類は、ひたすら「進歩」を目標としている訳ですが、この姿は、まるで地球という生体にできた癌細胞の増殖にも似た感じがしないでもありません。少しずつ、しかも確実に進むこの変化に対し、日常生活の中で、一人ひとり今、何ができるか、みんなで考えましょう。

(分会長 安留 力)

摂津分会

分会長に就任して

摂津分会の分会長という大役を仰せつかった途端、また、この原稿を書かねばならないことになりました。地方会長をやめさせて頂いてやっとあいさつや原稿書きから解放されると思ったのに、そうおいそれと、そうはいかないとStopをかけられたという感じです。もともとあいさつや文章書きが苦手で随分長い間冷や汗のかき通してしたのにまだ続けねばならないか

と思うし、また、会員の先生方にご迷惑をかけることになりそうで本当に心苦しい限りです。私は5年前の夏に心臓のバイパス手術を受けました。正確には満4年を経過し5年目に入ったということです。今のところ何とか快調に生かして頂いてはおりますがいつ終焉の日を迎えるかわかりません。にくまれっ子世にはばかると申しますから案外長生きするかも知れませんが、それは神のみぞ知ること、とにかく残された余生を少しでも皆様方のお役に立てれば幸せだと思っています。ところで同窓会の分会組織とはいかなる役割りをするのか、どういう活動をすれば良いのか実のところははっきりわかりません。8年に一度回ってくる会員大会の当番地区の任務を立派に果たすことが最大の任務であり、それに至る間は、お互いに情報交換し合いながらコミュニケーションを密にし懇親の度を高めるといことが分会の役割り任務だと考えます。縁あって同じ大学に学び、しかも兵庫県摂津地方に集まっているという非常に確率の低い集まりなので和をもって一致団結して事に当たることの出来るよう頑張ろうではありませんか。

(分会長 今井 章)

三木市美囊郡支部

〈新執行部スタート〉

三木市・美囊郡歯科医師会は現在36名。その内大歯同窓生は15名となっております。

今期は新執行部となり、10年間、会の為にご尽力下さった、大3回卒の木村新秀先生が勇退され、かわりに大16回卒の佐本高明先生が、会長に就任されました。また副会長として大22回卒の高岡雅雄先生が就任されました。その他新執行部には沢山の歯同窓生が参画し、平均年齢もぐっと若くなり、三木市・美囊郡歯科医師会の牽引車となって、新会長をバックアップして、頑張っております。

さて、大歯同窓会としては特に定期的な会はなく、日頃の先生方との連絡の中で、会食、ゴルフコンペ等を企画し、お互いの親睦を図っております。幸いにも、会長以下、若い先生との年齢の開きがそれ程大きくなく、佐本会長が我

々の兄貴の様な存在となっている為、非常に良いまとまりを見せております。また、他大学卒の先生方とも積極的にお付き合いをしており、会全体も協力的で、明かるく、活発な活動となっております。

会としては、小人数ですが、佐本会長のもと、若さと行動力では県下一と、自負しております。今後共よろしくお願い致します。

(大24回卒 原 公章)

姫路神崎支部

当支部は、播磨分会9支部の中の一支部で、会員数126名(特別会員14名、一般会員112名)の会員からなっており、役員会は年平均3回程度開催してその都度、時局に合った諸問題について討議し種々の情報を会員諸氏に伝達し何事も相談上問題解決に協力を願っています。最近、特に数年前より当支部関係の大歯卒業者数が減少傾向にあり、その上卒業されても他地区で勤務されるということで実質的に当支部への入会者も当然減少しています。そして当地区では他校卒業者が年々増加している関係上、大歯が占めるシェアがだんだん縮小しておりさびしい限りです。また年1回他校との連絡協議会を開き情報および意見の交換を行い親睦を深めています。事業としては播磨分会で行う年間行事特に学術講演会やゴルフ大会を共催し全面的に協力して会員相互間の和を広げるよう務めています。

また毎年行われる兵庫県大歯同窓会には積極的に参加し絆の強さを誇示しています。支部単独の行事としては毎年1回忘年会を開催しアルコールも入り宴たけなわに行われるラッキーカードに一喜一憂して日頃のウサも忘れ楽しい一刻を過ごします。今後共、会員相互の親睦と団結を図る事を第一義と考えて魅力ある支部に致すべく励んでゆきます。

(姫路神崎支部長 岩田 益司)



クラス幹事 だより

専5回

暑い夏が近付いて来ました。何分老齡の為、暑さには弱いのですが、現在住んでます7階建のマンション6階は風通しが良く、いつもクーラーなしで暮らしています。83歳で病の為、永らく暮らした長田の医院を坪田先生に譲り、今は亡き娘婿の内科に1週1回の点滴に通っています。7月10日5回生の同窓、金剛暁君死去の通報を伊勢市の長男先生より電話連絡あり、謹んで御悔み申し上げ弔電と香典を電送しました。安部君、徳田君、金剛君を亡くし、5回生会も132名卒業しましたのに、残り8名になりました。医専卒業後、金剛君は神戸で今は亡き竹中君等と共同で歯科医院を開業した事を覚えてます。私にも仲間にならないかと誘われました事も、現在は私一人が生き残っているだけです。埼玉県川越市の柳生嘉雄君も耳が遠くなり歩行困難で電話口にも出られず、ただ気力だけは元氣だと頑張ってます由。今は亡き徳田善右衛門君の名古屋には中原久夫君が元氣で時々孫娘を訪ねて京都伏見迄出張して来るとか、愛媛県今治市の田中仁一君も元氣な様子、大阪生駒市の西田芳太郎君も電話口では、意味不明の言葉しか出ませんが元氣な様子、大阪の沢田政紀君も元氣ですが、もう患者は診てませんとか。以上で5回生諸兄の近況をお知らせしましたが残り少ない歳月をいついつ迄もお元氣でありますことをお祈りして。早々 (橋本 六也)

専18回 燦たり、友の活躍に誇りと感激

平成3年6月9日(日)午前10時から新神戸オリエンタルホテルで、大浦波夫君の勲四等瑞宝章受章の叙勲記念祝賀会が、戸井田元厚相、貝原県知事、中原日歯会長始め多数の来賓、兵衛役員等約400人が満堂を埋め、盛大に催された。村井県歯会長が発起人代表として、お世話に預かり行われたものだが、来賓代表者の祝辞の後、大浦君の謝辞「只今、感激して老眼でなく涙で目の前が霞んでいますが……」との言葉に遠来の並いるクラスメートと共に、感激に咽び泣いた。さきの竹谷三省、溝井三代次両君の栄ある叙勲と共に、歯科界最前線で測り知れぬ労苦を厭わず、多年、国民医療に大きく貢献し、発展に寄与された学友の偉大な業績に無上の誇りと感激に湧いた。今後の更なる活躍を願って止まない。

福沢諭吉先生の彼の有名な「心訓」を、ある精神医が老人に対するものとして、次の様に書き換えている。①老人で一番淋しいのは、する仕事が無い事です。②老人で一番惨めなのは、身寄りが無い事です。③老人で一番悲しいのは、敬して遠ざけられる事です。④老人で一番醜いのは、過去にしがみつく事です。⑤老人で一番楽しいのは、まだ社会に役立つと自覚する事です。⑥老人で一番美しいのは、若い者の邪魔にならぬよう、若い者の為に陰の力を尽くす事です。⑦老人で一番尊いのは、死を忘れ無い事です。(恐れるのは死では無くして死への準備の無い事です。)と。(湊 信一)

専20回

兵庫県「はたち会」の諸君、幹事の私が病身の為長らくご無沙汰していました。

兵庫県同窓会誌に何か書かねばと思いつつ時を過ぎてしまいました。

今年1月26日磯島、中島両君の世話で神戸三宮で阪神間在住者の新年会が行われ、磯島、津島、岡田、中野、永田、原、須沢、石上、大阪より福家、草間、保沢の11名が出席し大いに旧交を温めました。

6月9日には、津島大麓君の叙勲記念祝賀会



がオリエンタルホテルで開かれました。出席者は同じ丸テーブルを囲み同君の叙勲を祝いました。出席者に慶徳、島谷、松崎、中野、原の諸君と私、乾君の代理御息、大阪より草間君、えらいさんの別テーブルに磯島君、岡田君がいました。以上両方の集まりで兵庫県の同窓全員が顔をそろえた事になります。

常に「はたち会」の世話をしてくれている大阪の福家君が十二指腸炎から腹膜炎になって入院手術されましたが経過良く退院され現在家にて療養されています。

大歯同窓会報で磯島君が書いているように11月9日は有馬で兵庫県の当番で「はたち会」を行いますので全員参加下さい。（谷上記）

専21回

去る5月31日、21期生同窓会天作会は大阪の当番で開催されました。例年ならば10月に行わ

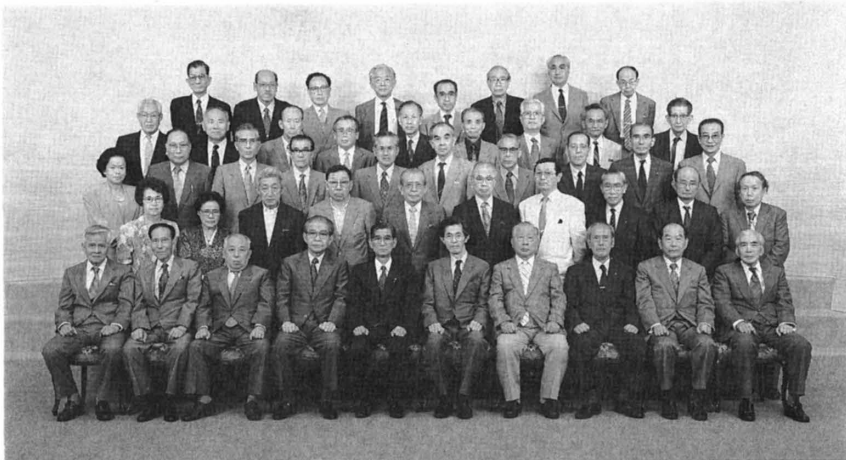
れるのですが、今年は大歯80周年の催しが大阪で盛大に行われましたので、これに歩調を合わせてわれわれも、大阪心斎橋のホテル日航で、板橋君、尾持君、辻君等のお世話で開催されました。開会に先立って、今年3月16日逝去された名古屋の岡田進君と、4月12日に逝去された東京の愛敬弘成君お2人の冥福を祈って1分間の黙とうが捧げられました。

岡田進君は、一昨年年名古屋での総会の際、青木君や服部君と共に元気で色々とお世話をして下さっていましたし、愛敬弘成君は、毎年の総会には遙々東京から皆勤出席で、本校事情や関東方面の情報をユーモアたっぷりに伝えて下さっていました。今後、元気なお2人の顔が見えない事は一段と淋しさを感じます。

続いて来年の開催当番は兵庫県と決定し、また再来年に関し協議の結果、徳島県の大島輝武君が引き受けて下さる事に決定しました。写真撮影の後、大広間で夜が更けるまで昔話が終わりなく続きました。出席者下記の通りです。

青本、赤根、板谷、上田、江見、大島、大塚一、大塚賢、大塚立、大森、岡、岡田、岡本、小寺、尾持、梶原、川田、菊山、北井、黒坂、後藤、近藤、杉本、武田文、田中、辻、中川、長野夫妻、中村長、野草、服部、浜口、林、樋口、日野、藤原、堀内、堀家、松井宣夫妻、三村、村上、森田、川原、以上45名。

(小寺記)



平成3年度 天作会50周年記念総会 平成3年5月31日 於 ホテル日航大阪

専23回

兵庫県の専23回生は現在、名簿上12名。これまでは年に1回は必ず集まって、ちょっと一杯、旧交を温め、現状を確認し合う場、機会を作ってきた。その言い出しべい役の達谷君を昨年7月失い、設営役の上村君も術後の身、呑み仲間集まれの号令は今のところ掛けにくい。しかし全国23回クラス会などには繁益君、明石の伊藤君ら精勤に兵庫の存在を示して頂いている。姫路の西川君は、奥様のご療養に専念と聞く、どうぞお大事に。花岡君は、花の写真撮影に精根を傾倒、いい作品発表を期待。

川畑君、学術研修の節などよく拝顔。伊丹では藤井君健在、みずからの8020を身を以て確保すべく歯科治療中、主治医として小生責任重大協力は惜しまず。

篠山の天野君、医者通いだと何時か伺ったがその後どうですか。嘗っての八丈島守備隊の話また聞かせて欲しい。これまで専23回評議員大阪の清光君体不調で辞任、6月のクラス総会で小生就任が決まりました。皆様のご支援ご協力宜しくお願い致します。

以上、最近、直接間接に知り得た消息を簡略に記しました。限られた紙面の範囲ということで隔靴搔痒の感あるかも知れずまた違う真相や詳細があればお知らせ願います。

(八竹 良清記)

専26回

しばらくご無沙汰しています。過ぎればアッという間の暑い夏も暦の上ではもう秋になり、この会報が目止る頃は秋冷の風を楽しんでおられることと存じます。さて、兵庫県が引き受けた二六会の平成3年度総会は一旦は来る10月26日の予定で準備を始めましたが、都合の悪い地区が続出したため紆余曲折の末11月9日(土)と決定しましたので変更のお知らせをします。なお、日本歯科医学会総会は予定通り10月26日に学友森政和君を会頭として開催されます。級友こそってご参加されます様をお願いします。

記

平成3年度二六会総会

日時 平成3年11月9日(土)午後4時

会場 神戸三宮 神仙閣

なお、本年は記念品に多少気のきいたネクタイピンを予定しています。ご期待下さい。

また、諸雑務をお願いするやも知れませんが、何卒ご協力下さい。

最近、諸兄の消息(病気などの)を聞いていませんので安心してはいますが、何か変わった事があれば連絡して下さい。(田村:記)

専27回 牧陵会神戸人会

本年度から長年クラス幹事をやっていた西原君よりひき継ぎ、私が牧陵会神戸人会のお世話をする事になりました。諸兄のご協力をよろしくお願いします。

牧陵会神戸人会では年一回の総会、懇親会を行っております。平成3年2月16日、御影荘で総会を開き、今後の会の運営、及び会の反省等話し合い、後、懇親会を開き、楽しい一夜でした。

牧陵会神戸会々員も高齢化し、中塚君、中浜君、細原君が亡くなられ、川岸君、土居君、高橋進君が諸病気の為、現在、自宅療養中と大変さびしい状態です。会員諸兄健康には十分気を付けて、次回の会合には元気な顔を合わせたいと思います。また牧陵会本部より平成3年11月30日(土)に大阪太閤園(淀川亭)に於いて総会が開催されますので、神戸人会全員参加する様通知が有りました。よろしく願います。(高端記)

専28回

兵庫県「にはち会」井上、磯貝、今井(章)、片山、金川、鎌田、志築、滝井、田中、谷上、西原、橋川、平尾、広瀬、村田、山崎、弓倉、川岸の諸君18名。

川岸君の病氣療養中をのぞいて、皆元気です。

クラス会総会には、一部の人しか出ませんので、一度なつかしい顔をそろえることができる

よう期待します。

人生のしぶきに濡れて60数年、まだまだ、これからです。

今井(清)君も静岡から帰ってくるといっています。

これからの人生をリフレッシュし、生きる楽しみを味わうためにも、皆さん、一度あいましょう。(兵衛にはち会)

〓兵衛32回ここに在り〓

去る6月1日(土)神戸新オリエンタルホテルにおいて兵衛32回主催の全国三二回総会を開催した所、埼玉県から宮崎県までの各地から100有余名の同窓が、また、本県から村井兵衛会長、岡田神衛会長のご臨席を賜わり盛会裡に無事終わることが出来たのは一重に藤本32回会長をはじめ、兵庫県32回の皆様のお陰だと思っております。

当日は出席者全員旧交を温め、充分満足してもらえたものと思います。特に当日出席の兵衛32回34名の活躍は受付、案内等々の世話を誰言うことなく受け持ち、万端の態勢で臨めた事は32回の団結と共に同窓として素晴らしさを改めて思い知らされた感じである。

私事で申し訳ないが、余り近くに有るので恐らく宿泊など考えてもみなかった新オリエンタルホテルの部屋から窓外を望み、神戸港を眼下に大阪湾や淡路島を一望、そのロケーションの素晴らしさに神戸の良さを再認識、そこに手足をのばしてゆっくりと一夜を過ごせた事はいい思い出として何時までも心の底に残ると思う。

さて来年は卒後40周年を迎えるに当たり、大阪32回が当番、これまた大いに張り切り全国より今年にも増して同窓を集めたいと意気盛んで兵衛32回としても今年のお礼を兼ねて大挙して「兵衛32回ここに在り」と大阪に押掛けたいと思しますのでその節はよろしく。

最後になりましたが、今後の我々、クラス会は兵衛32回の親睦をより深めるためにも各地方(例姫路、伊丹等)を巡って総会や親睦会を開催したらと思っておりますので、当番に当たられた地方の諸兄は大変ご面倒ですが、ご協力を

お願いするとともに6月1日の全国三二回総会当日における皆様の一方ならぬご尽力に対し紙面を借りて心より厚く御礼を申し上げます。

(森本 二郎記)



故
渡
辺
四
郎
君

大1回 渡辺四郎学兄追悼の記

「よしゃわかった、ちゃんと頼んでおいたからな」と電話の会話の向こうから気さくな声ははずむ。昨年一黎会の総会を赤穂の貴和荘で行い、翌日大石神社の宮司(彼の友人)に講話を依頼した時の小生と学兄との電話のやりとりだった。こうして楽しい思い出の多い総会を過ごすことが出来たのも彼の世話に背うところが大きかった。その元気そのものだった彼が今年7月9日急逝するとは誰が想像しただろうか。

わたくし達が大阪歯科大学々部に入学した時には、学兄はすでに国学院大学を卒業し、旧制中学校の国語、漢文の教職中に太平洋戦争に応召、陸軍大尉で中国大陸を転戦従軍、戦後、渡辺歯科医院を継ぐべく大歯第一回生として入学した時には、すでに吾々より10歳も年長だったが、陽気で気やすい性格で、わたくし達年下の者にも溶け込み、皆のめんどうみがよく、クラスメートから常に慕われ、兄の様な存在だった。

豪放磊落で、人をそらさない卓越した話術に加え、円満な人柄が受けて、この10年来、兵庫県歯科医師会総会の議長を務め、また多趣味で易学、詩作などに造詣が深く、このようなことが評価されて、各地の歯科医師会、ライオンズクラブ、ロータリークラブ等での講演の講師として活躍していた。



今年2月、体調をくづし、入院手術後退院され、家庭に御見舞に伺った時、元気に病床より起きてこられ、彼特有の陽気な話題に花が咲き、全快間近かと思っていたのに突然の逝去ただ茫然自失するのみ。幽冥境を異にして黄泉の彼方にある渡辺学兄、どうか安らかにお睡り下さい。合掌 (山田 旺：記)

大8回 兵庫おやしらず会

現在、会員数31名。原則的には県下での開業者を対象としており、年2回、不定期に懇親会を開き、会員相互の親善に務めています。

3月末に前幹事の中田君が幾度かのピンチも不屈の闘志で切り抜けていましたが、遂に不治の病には勝てず力尽き他界されました。

彼とは親交深い安保君に生前の中田君を偲んで追悼文をお願いした次第です。

中田実君を偲んで

彼との出会いは、昭和28年大阪歯科大学入学の時からで、私は家が歯科医ではなかったもので歯科については右も左もわからず、学生時代の実習では彼の家に行き御家族にもご迷惑をかけた事が今は懐かしく思い出されます。

卒業後、彼は岐阜大学医学部口腔外科の筆頭講師として長く学生の指導にあたっていました。約20年前神戸市北区に開業、地域住民の医療にまた兵庫県学校歯科医会の専務として職責遂行に献身的努力をされ、またそのかわらロータリークラブと非常に広範囲で活躍され、多方面の役職で忙しかった時期がありました。今から思うとその頃から病魔が彼の体を蝕み始めていたのかもしれませんが。平成元年夏過ぎから

おなかの回りに汗疹の様なものが出来たといっあまり気にしていなかったのですが、平成2年1月病院で検査の結果入院、御見舞に行って「頑張れよ早くよくなって、またゴルフをやろうや」と言う「頑張る!!」とうなづいていました。

上の御嬢様も大阪歯科大学卒業、ご結婚も決まり、これからは夫婦で旅行をしたり、また、われわれとゴルフをしようと楽しみにしていましたのに、奥様や2人の御嬢様の献身的な看護のかいもなく、平成3年3月29日永眠されました。

享年いまだ57歳あまりに若き身罷りに、ただただ胸がふさがるばかりです。

同級生一同心からご冥福をお祈り致します。

合掌

(安保 博之)

大12回

大学12回卒業生は、兵庫県内で33名の多数の会員を有し、兵庫、神歯、地方会においても、その活躍の場を多数占め同窓として誉に思えます。「大12兵庫県支部」として年2回の総会及び例会を開催し、いろいろな分野から講師をお招きし講演会を開いています。常時20名以上の会員の参加を得て、それぞれの現況を報告し合ったり問題提起をして共に考える会として好評を得ています。県歯、県同窓会からご来賓をお招きして県歯及び県同窓会との連帯を常に保って来ています。「同窓」という共通の地盤に立って心から話し合える会として年々成長して来ています。各会における中枢的立場として会員各位のますますの活躍が期待されている年頃となっていますが「大12兵庫県支部」会員の人材の豊富な事は自他共に認める昨今となって来ました。大頭前会長、橋本元会長からの適切な助言を得てなんとか会長職を果たさせていただいておりますが、なによりも会員各位相互の信頼と理解のもとに大きくはばたいています。

これからの課題は各自がそれぞれの分野でその職務が大変多忙となっているために今迄の連帯感をくずさずに互助の精神で一つにかたくま

とまって行く事だと感じています。また、それぞれが持っている情報と知識を広く会員全般にお知らせ出来る組織作りに努めなければならぬと思います。(会長 黒田延彦)

兵庫登美栄会(大学13回)

私たちは大学13回生として、昭和40年に卒業いたしました。登美栄会の名前の由来も、13回生が栄えるようにとつけられました。

初めは全国組織だけでしたが、12年前より会員のきめ細かい親睦のために、ブロック単位の会が作られ、兵庫登美栄会が発足いたしました。現在30名の会員で井堂孝純君、山口省三君が会長を歴任し、現在、再び井堂君が務めています。兵庫登美栄会は、毎年総会・懇親会、会員親睦旅行、学術講演会を定期的に開き、適宜新年会、忘年会、時局懇談会もいたしています。

この1年間の活動について、ご案内いたします。平成2年7月14日、クラスメートの大歯補綴学井上宏教授の「日常の臨床に役立つ補綴の検査」で、ゴジックアーチ、バイトチェック咬合器の使い方などの講演を、開催しました。

この講演会には、私たち会員以外の先生方も多数ご聴講いただき、感謝申し上げます。

10月10日・11日には、約半数の会員が参加して、長崎方面に観光グルメの旅をいたしました。

本年3月30日、総会・懇親会を兵庫県同窓会長村井先生をご来賓にお招きし、27名の参加者で盛会に開かれました。

平成5年に登美栄会の全国の大会を、兵庫登美栄会が引き受けることになりました。一同張り切って準備にとりかかっています。兵庫県同窓会の先生方にも、なにかとご協力をお願いするかと思います。どうかよろしく。(林)

大15回 いちご会(昭和42年卒)

突然の原稿依頼でとまどいながら、50歳の老化傾向の体力、給料の割に管理能力のない人材、耳の遠い患者様やデンタルIQの低い患者様のインホームドコンセント、治療上でのトラブル防止の緊張感。

ストレスの連続の日常生活。泥酔して、ウサを晴らす術もなし。そんな環境の中であって、6年間机並べた仲間『いちご会』の間に一人の死亡をみない事は、我が『いちご会』も御同慶のいたりである。ただ、御同輩達も、歳柄も宜しく、短期間の病気、養生しながらの診療の話の時々耳にする。老婆心ながら、健診を含めたケアにお気を付け頂きたい。御身を大切に。

昨年は大歯大同窓会兵庫県大会で、また今年6月はホテルオークラで大歯大全国大会でと、『いちご会』が一堂に会する機会があった。『いちご会』兵庫県支部開催が必要がないかもしれないが、せめても年1回は『いちご会』の支部会計報告をさせていただき総会の開催を願う。今年こそその機会には、ぜひお集まり下さる事を楽しみに。(文責 水田 耕司)

大29回

暑い毎日が続いておりますが、仁玖会の皆様はいかががお過ごしでしょうか。

我々が大学を卒業して、早10年が過ぎ去りました。自分ではいつまでも若造とっていても、この10年間には、皆様も色々な経験をなさったことと思います。大学という一種の小さな世界から、社会という荒波の中へ放り出されて、希望や試練など、到底一言では言い表せないことでしょう。皆それぞれに、大学の医局に残って研究に励んだり、開業し地域医療に邁進したりと、志は違えども、大きく変化し躍進した10年だったのではないのでしょうか。

さて、先頃行われました同窓会について、ご報告申し上げます。去る6月1日、大阪ホテルプラザに於いて、大学80周年記念と併せ、仁玖会の10周年記念同窓会がとり行われました。当初より懸念された、当日、会費の高額さを反映してか、参加予定人数が少なく、心配しておりました。しかし、同窓会を思う心を持つ人が多いのか、予定よりかなりの盛況で、賑わうことができました。また内容的にも、食事も美味しく、立食形式にせず円卓に椅子を配し、落ち着いた雰囲気の中で進みました。これも、幹事の谷口君が何度も足を運んでくれたお陰です。

同日の写真をもとに、記念のオリジナルテレカを作る計画も、進めています。できましたら、個人宛に送るつもりですので、楽しみにお待ち下さい。

また、この反省会で、仁玖会の幹事から多くの反省点や改革案がでました。それをもとに、連絡網の再編成、年会費の納入方法など、現在検討中です。この会報がでるところには、すでに手紙が着いているかもしれませんが、ご協力のほど宜しくお願い致します。(赤井記)

燦美会(大32回)

大学卒業以来6回目を迎えました兵庫県支部の同窓会は、今年の2月10日、11日に兵庫県の最南端の地、鳴門大橋を一望する阿那賀のうずしお温泉旅館「うめ丸」にて開催されました。

宴会に先立ち10日朝から行われましたゴルフコンペは、春一番の吹き荒れる最悪のコンディションで参加者全員スコアはがたがたという結果でした。ちなみに優勝は京都からの特別参加

者O先生でした。

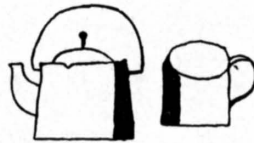
さて6時に開宴致しました宴席は「うめ丸」自慢の鯛づくしで始まりました。その後の展開はお察しのとおりです。一気飲みに一気食い、さらには大浴場にまでなだれ込んでのビールパーティと盛り上がりました。

なお、次回第7回の兵庫県同窓会は有馬で開催と決定しております。年に一度、日々の思いや昔を思い出しながらの長話はお酒の勢いも加わって実に楽しいものです。是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

また今年の燦美会総会は11月16日神戸と決定しております。こちらの方も宜しくお願い申し上げます。

第6回燦美会 兵庫県支部同窓会参加者(順不同)

粟田、岩田、小野、太田、大西、加藤(嘉)、西條、竹島、武田、中原、中村、西原、林(哲)平山、山田(功)、吉田(清)、足立 以上18名



平成3年・平成4年度大阪歯科大学兵庫県同窓会役員

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
名誉会長	奥野半藏	常任理事 学術	大矢信夫	福祉	河村宏
会長	村井俊郎	〃	佐藤莞爾	〃	末岡彬
副会長	伊藤彰彦	〃	高木馴次	〃	清水強
〃	小田一尚	〃	大野正迪	〃	山田隆造
〃	中塚裕	〃	橋本猛伸	〃	明石貴雄
〃	渡部潔	〃	大頭孝三	〃	奥田健
〃	長浜禎昭	〃	住谷道夫	〃	幸田洋一
専務理事	志築照和	〃	沢田隆	〃	庄司武
常任理事 庶務	志水和夫	〃	川勝賢一	組織	田村正
〃	美田良治	〃	和田輝郎	〃	瀧野俊一
〃	嘉ノ海昭吾	〃	神田孝平	〃	森鼻正之
〃	岡田利雄	広報	中森康二	〃	小野勉
〃	前田孝俊	〃	川村幸雄	〃	今井章
〃	一瀬健二	〃	永井愛正	〃	山岡昭二
〃	井上正俊	〃	木許隆道	〃	保井諧至
〃	石田稜威夫	〃	橋本卓次	〃	南木秀夫
〃	松村久衛	〃	北英一	〃	藤井昭
〃	本庄紘	〃	水田吉彦	〃	正井洋児
〃	矢富義昭	〃	中野浚次	〃	鯉田英昭
會計	三坂明美	〃	豊川輝久	〃	増田孟
〃	池田英綱	福祉	寺西敏一	〃	森岡慧
学術	西田真和	〃	赤井崇郎	〃	田村宏
常任理事 学術	増田勝美	〃	川西伯陽	〃	河南博仁
〃	山脇潤三	〃	四柳嘉清	〃	安留力
〃	久保龍三	〃	次橋作藏	〃	西条晃
〃	藍亮一郎	〃	飯田浩司	〃	村瀬進

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
組織	野口勝弘	渉外	入江恒夫	理事	和久勝彦
〃	永井清方	〃	正井正	〃	合田興世
〃	平田渙治	〃	佐本高明	〃	中塚史朗
〃	川口豊	理事	中村要	〃	水野康朗
〃	井堂孝純	〃	足立維	〃	高田邦彦
〃	藤田義人	〃	高津全雄	〃	淀泰尚
渉外	笠原義人	〃	龍田早苗	〃	吉本一馬
〃	橋川司	〃	塚本昇平	〃	村上泰人
〃	善本秀知	〃	藤原仁	〃	守光昌弘
〃	小川靖彦	〃	木村新秀	〃	滝本亜樹
〃	関川健	〃	長谷川幸弘	〃	浜田邦夫
〃	小坂修	〃	守内道信	〃	志賀泰之
〃	蓮池俊明	〃	杉本孝	〃	小北亨
〃	小野晃	〃	嘉ノ海寿八郎	〃	深沢英輔
〃	宇賀文夫	〃	香山守	〃	由良博
〃	前野康彦	〃	上田晴敏	〃	浜田幸人
〃	清水保則	〃	豊後護	〃	西山彰
〃	清水栄一	〃	安保博之	〃	東文宣
〃	永井昇	〃	金月清	監事	内海利正
〃	天方孝彦	〃	宮本弘義	〃	河合範夫
〃	坂口喜史夫	〃	糸田英俊	諮問委員	井上貴之介
〃	長谷川秀明	〃	清原光次	〃	大浦波夫
〃	記村恭造	〃	馬場弘	〃	竹谷三省
〃	西海啓之	〃	岩田益司	〃	溝井三代次
〃	和田透	〃	桧垣鋭治	〃	湊信一
〃	飯島恵一	〃	松岡弥栄	〃	永津良三
〃	中川真	〃	原平和	〃	磯島吉之祐

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
諮問委員	津 島 大 麓				
〃	岡 田 一 三				
〃	稲 垣 真 也				
〃	和 田 茂 之				
〃	松 本 清				
〃	塩 見 洋 三				

大阪歯科大会同窓会・委員会名簿

平成2・3年度

同窓会館（室）調査検討委員会委員

1. 役員

- 1) 松 本 博 (副会長)
- 2) 新 田 孟 (専務理事)
- 3) 志 築 照 和 (常務理事)
- 4) 岡 一 邦 恭 (常務理事)
- 5) 田 治 米 保 夫 (常務理事)

2. 支部会長

- 1) 森 宏 (三重県)
- 2) 村 井 俊 郎 (兵庫県)

3. クラス会代表者

- 1) 品 川 武 人 (専30)
- 2) 三 谷 卓 (大8)
- 3) 松 田 毅 (大13)

平成2・3年度名簿編集委員会委員

委員長	専務理事	(専30 大阪)	新田 孟
委員	編集部	常務理事	(大3 大阪) 藤原 一成
〃	庶務部	〃	(〃5 京都) 水谷 光孝
〃	会計部	〃	(〃8 大阪) 三谷 卓
〃	庶務部	〃	(〃12 兵庫) 橋本 猛伸
〃	編集部	〃	(〃13 兵庫) 井堂 孝純
〃	編集部	理 事	(〃13 大阪) 後藤 進
〃	〃	〃	(〃16 兵庫) 豊川 輝久
〃	〃	〃	(〃18 京都) 浜田 明嗣
〃	〃	〃	(〃20 大阪) 岩井 康容
〃	〃	〃	(〃20 大阪) 比良野政彦

〈予告〉

第37回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会

日 時 : 平成4年8月8日(土) 午後2時

場 所 : 神戸ポートピアホテル

当 番 : 播磨分会

平成3年11月1日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話(078)351-4181

編集発行人

志 築 照 和